

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 4 - 4

1 事務事業の表示

該当

事務事業名		雄武斎場火葬炉施設修繕事業						
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	環境衛生係			
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長		
		氏名	渡辺孝司	氏名	内藤肇昭			
事業の概要	火葬炉の劣化等の早期発見により、適切な時期に修繕を行い、施設を正しく維持管理する。					全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 21 年度)		
						国・道支出金	千円	
						地方債	千円	
						その他	千円	
						一般財源	3,480 千円	
事業費計	3,480 千円							
実施方法	直営	民間委託	その他 ()					
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B			
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~					
	基本施策	15	環境の保全					
	単位施策	3	景観形成・環境美化・公害防止の推進					
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務				
	その他計画・根拠等	雄武町火葬場の設置及び管理に関する条例						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)		
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	雄武町負担額 (一般財源)	1,785 千円	1,680 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	合計	1,785 千円	1,680 千円	千円	千円	千円		

553

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	火葬場利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	修繕の遅れにより、施設の利用ができなくなるおそれがある。	施設の適正な維持管理			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者の利便性の確保及び安全かつ正確な業務の遂行。	修繕が必要な施設数	目標年度	平成21年度	
			目標値	2 箇所	
			実績値	2 箇所	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	火葬業務の円滑なる執行		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
火葬炉施設の修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・2号炉主燃焼室N煉瓦張替修理 ・キャリアー台車バッテリー及び車輪の交換修理 ・コントロールモータ(3台)交換修理 				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	火葬場は公衆衛生上、地域社会において不可欠な施設であり、現在、町営斎場は1斎場で火葬炉は2基のため利用者の利便性を確保するため、適宜の修繕は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、施設の適切な維持管理ができています。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	適切な時期の施設の修繕により、安全かつ正確な業務の遂行と利用者の利便性の確保を図ることができる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	




(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	火葬場は公衆衛生上、地域社会に必要な施設であり、利用対象者が全町民であることから公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
火葬場は公衆衛生上、地域社会において不可欠な施設であり、適宜の修繕は利用者の利便性を確保するため、必要と判断する。	火葬場は公衆衛生上、地域社会において不可欠な施設であり、適宜の修繕は利用者の利便性を確保できた。	

今後の展開方向 (Action)			
	継続 / 現状維持 適切な時期の施設の修繕により、安全かつ正確な業務の遂行と利用者の利便性の確保を図ることができるため、現状維持が適当である。	終了 事業の目的が達成されたため。	
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--